

日	月	火	水	木	金	土	
○青字の日 誕生日 ♪	1	2	○3 サバイバル	4 キャンプ→	○5	6	
○緑色の日 7 おむすびの日	8	9	○10	11	○12	13	
5/5~7/7 アメリカ・オランダ(日) 清子ちゃん てらこやで 過ごします。	14 清子さん (小2)~7/7まで	15	16	○17 このあたりの	18 どこかで	○19 田植えの予定	○20 田植えの 日はおむすびに なります。
21	22 ひとつの じかん 13時~	23	24 緑大12歳	25	○26 てらこやキッチン	27	
28	29	30					



◆♪◆\*...◆♪◆\* きく のメッセージ 「もみじの家が教えてくれたこと」 ◆♪◆\*...◆♪◆\*

もみじの家で暮らして、2ヶ月がたった。初めて家に入った初日は猪を土に埋めてあげるという衝撃の共同作業があったが、今は楽しく暮らせている(笑)暮らしてみても気づかされることの毎日。そんな気づきをシェアできたら嬉しい。一つ目の気づきは暮らすためのエネルギーのありがたさだ。今までは何の不自由もなく、ガスも電気も水道も使っていた。エネルギーはお金を出せば簡単に手に入る時代だが、そのエネルギーを暮らしの中で考えるきっかけになった。まずは「火」について。暮らすうえで「火」は中心だと気付かされた。暮らし始めて食事をするのにまずは火が必要なのに気付く。もみじの家はガスが通ってないので、外で煮炊きのスペースをつくる。もちろんだが薪が必要になってくる。一日の疲れや汗を流すお風呂も入りたい。もみじの家は薪風呂だ。また薪が必要になる。毎日続けば薪が沢山必要になる。良かった！近くに山がある。落ち木を使わせて貰おう。山の近くに暮らす人の気持ちが分かった気がした。今はお金持ちより薪を持っている方が安心する感覚だ。薪風呂ってお湯にするってこんなに薪を使うのか、、、次は「水」について。美味しく安全な水が近くで飲めることは本当にありがたい。水も生きるうえでば欠かせない。水は水道からちょろちょろしか出ない。洗い物をする時は水を桶にためて洗う。いかに以前は水をドバドバ出していたことか、、、井戸の水だから枯れたら悲しい。だから雨が降ることが嬉しくなった。恵みの雨とはまさにこのこと。水がしっかり流れていくことも大事なことに気付いた。家の周りの排水は今後の課題だ。雨水がちゃんと流れている、下水道が整えられている、排水が整えられている家は本当にすごい、、、最後は「電気」について。太陽のエネルギーはすごい。もみじの家にはソーラーパネルがあって電気を少しわけてもらえる。ソーラーパネルの電力を使う時、使う機械によって電力の表示が分かる(例えばドライヤーは1200W。携帯の充電は3W。)熱にするエネルギーはこんなにも高いのか、、、電力の残量を確認しながらなので使うときも慎重になる。以前はどの種類の機器がどのくらい電力を使っているかなんて考えもしたことがなかった。昔はエアコンも電気ストーブもこたつも。そりゃあ電気代が高いわけだ(笑)夜の電気も小型のソーラーパネルのランタンを使っていて、明るいとこに集まる。だから僕は夜一緒の場所にいることが多い。どこもかしこも明るいのでは、集まる必要もなくなってきたのかもしれない。家族の団らんには、明るさが一箇所。とても大事なことなのかもしれないと気づく。

二つ目は自分の中で生かされることにも気づいた。今までは人間中心のような暮らしだったように思う。周りは森だ。当たり前だが生き物たちが沢山いる。蚊、ハエ、ダニ、アリ、蝶、ハチ、カエル、ヤモリ、ネズミにヘビに鳥に野良猫だって遊びにくる。生き物たちは食物連鎖の中で生きている。そこに生き物達が生きて暮らせていることはそんだけ自然が豊かということになる。縁側外には食物を育ててい蜂たちが受粉を手伝ってくれている。僕らが食べる作物と一緒に育ててくれている感覚だ。土が、太陽が、そして雨が、風だって育てるの助けてくれている。太陽が時間を教えてくれる。星が綺麗に輝き、月が夜を照らしてくれる。鳥の声が朝一番に聞こえてくる。みんなが地球の中で一緒に暮らしている。僕自身も自然の中で暮らすことで、生き物たちが豊かになるする暮らしを心がけてみたいと思うようになった。だから最近ではもみじの家周りの野いちごは少し残せるようになった。そや！生き物達も食べてるんやっ！食べ物だって分け合っている。全部食べちゃいたい思いを我慢して(笑)循環していることを改めて気付かされる。

最後は、暮らしのデザインを創ることの楽しさだ。不便なものよりよくするために自分で創るのは本当に面白い。最近ではトイレトベーパーをとる棚をつくった。買うのではなく、あるもの(竹や木)で戦う。取りやすく使いやすい位置は自ずと決められてくる。何かの配置って丁度いいところに置かれてるよな！そんなこと創ってみて初めて気付かされた。煮炊きゾーンでは動線をつくる。焚き付けはここに。薪はここにと必要な場所に置く。薪風呂の近くに煮炊きスペースがあったらめっちゃくちゃ便利じゃないか？煮炊きのスペースがベストの場所にはまっていく。煮炊きをしている時にあれ？待って？なんか暗いと思ったら屋根に土と落ち葉があったのか。よけてみたらめっちゃくちゃ明るい。ご飯の中が見やすくなり、煮炊きがしやすくなった。中のキッチン暗すぎないか？と思う日もあった。そうか！太陽の日差しが入っていきなかつたのか！朝日をキッチンにどうしても入れたい！周りの木をすく位置をめちゃくちゃ考えて、切る。今では朝一番にキッチンに日差しがはってくるようになった。外に電気がないので、煮炊きも明るいうちに。暗くなってからじゃあ料理の中身の様子が分からない、、、暮らしのデザインもはじまっていく。ひとつの問題を解決していきながら、また新たな問題が出てくる。そこをどう解決していくかを考えるのも面白い。今は体験してみて、心地よい場所を探っている。デザインすることはめちゃくちゃ楽しい！！

お金で解決できることは沢山ある。しかしお金をつかうことで気付くきっかけが減り、頭を使わないことも増えたのではないかと思った。もみじの家での暮らしは足りない、不足と思われる状態にこそ学び、考え、楽しみを感じる余地が沢山あったように思える。それこそまさしく生きる力へとつながっていくような感じだ。お金をかけすぎずに、そこにあるもので過ごしてみる。僕らの生活実験が始まっていく。暮らしの中でエネルギーを大切に、循環していることを感じ、そしてデザインしていくこと。生きる上での智慧と力をもみじの家が教えてくれた。暮らしには学べるのが沢山ある。暮らすように学ぶことも教育の一つの形かもしれない。暮らしと共にある学び舎である、自分を生きる学校てらこや。そのてらこやでの暮らしも丁寧に創っていく。今年のテーマはこれに決めた。